

SSH活動レポート：研究発表会

東京学芸大学主催「課題研究成果発表会」に参加しました

2026年2月23日 場所：東京学芸大学



2月23日（月・祝）、東京学芸大学にて開催された「第10回 課題研究成果発表会」に、本校（科学技術高等学校）から1, 2年生の5組10名の生徒が参加し、日頃の探究活動の成果を発表しました。

本発表会は、SSH（スーパーサイエンスハイスクール）指定校等の生徒が集い、大学教員や専門家に向けて研究成果を発表する貴重な場です。本校の生徒たちも、緊張しながらも堂々と自分たちの研究内容をプレゼンテーションしました。

★発表テーマ

ムチゴケのフラクタル解析

ヤモリの足の裏の指紋

オカダンゴムシによる色覚調査

置かれている状況に応じたハエトリグモの付着盤の付着頻度を調べる

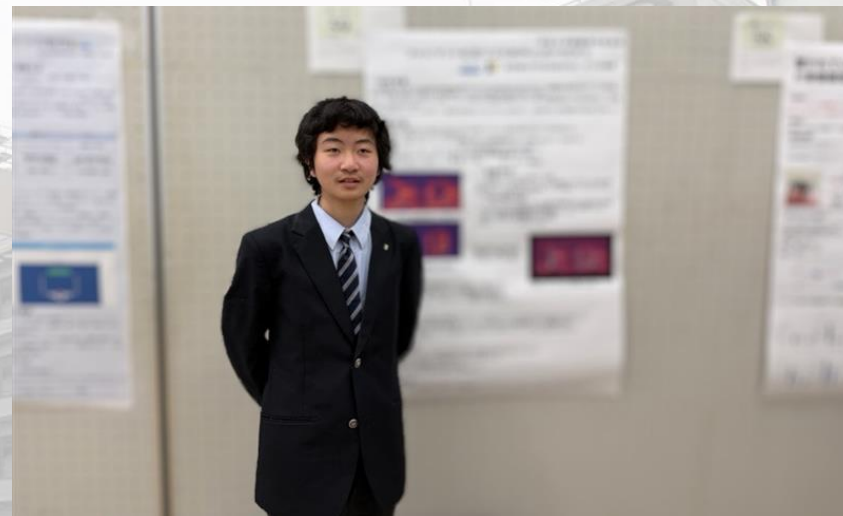
フォルマント合成による音声合成の効率化

理科教材シミュレーションサイトの制作について

質疑応答では、専門家の方々から鋭くも温かいアドバイスをいただき、自分たちの研究の強みと、さらに深めるべき多角的な視点を客観的に見つめ直すことができました。

当日は、東京学芸大学の大学院生による高度な研究発表も行われました。少し先の未来のロールモデルとなる先輩方と直接言葉を交わし、質の高い研究プロセスに触れたことで、生徒たちは学問の奥深さを実感した様子でした。今後の進路選択や探究活動に向けたモチベーションが大きく高まる、素晴らしい刺激を受けた1日となりました。

本校1年生による探究発表会を3月16日に行います。どなたでもご参観いただけます。詳細はHPに記載しています。



発表の様子

